

# ガラスウミボウズ

海流に身を任せ海をたゆたう、ガラスウミボウズ。

彼のガラスの表皮のなかでは海そのものが循環する。

その生命の活動は、絶え間なく繰り返す動的平衡の中で、海洋の環境を映し出す。

ときに小魚のゆりかごとなり、ときに捕食者の狩場にもなる。

ガラスと海でかたちづくられるガラスウミボウズ。

カタチのないものにカタチをあたえ私たちは認識し体験する。

## 透明な器

ガラスは透明な器として、カタチのないものにカタチをあたえる。そして中身は入れ替わる。



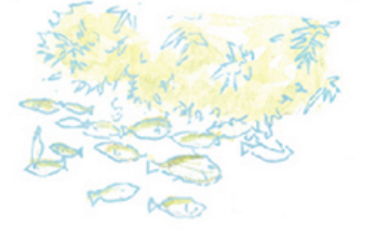
## 生命の動的平衡

『生命とは代謝の持続的变化であり、この変化こそが生命の真の姿である (Rudolph Schoenheimer)』  
中身が循環する器としてのガラスは、生き物のような魅力もつ。



## 生物のシェルター

単なる海水の器ではなく、海洋をたゆたう流れ藻のように、他の生命にとって、海洋水面近くのシェルターとして、生態環境まで含めた器の役割を担う。



大気圧とガラスによる海の可視化  
大気圧とガラスにより海上に海を  
持ち上げ環境を可視化させる。

海流を利用した対流  
海底部と海流により対流を起こし  
海水の循環をおこなう。

浮力と観察スペース  
十分な予備浮力を持ち、海洋に  
浮かぶ環境観察スペースとして  
利用される。

ガラスバラスト  
底部はガラス厚を持たせること  
で重心を下げ復原力を高める。

流れ藻のような魚巢性  
小さな生き物が捕食者から身を守る  
シェルターとしての役割を担う

